くもの巣

直江　アキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
くもの巣

【Ｎコード】
Ｎ５９９８Ａ

【作者名】
直江　アキ

【あらすじ】
恋の駆け引きをくもの巣に例えてみました。罠をはった彼とかかってしまった彼女の物語です。

（前書き）

拙いものですが、よろしくお願いします。

それは『くもの巣』だ。

彼――佐古尚輝が、私はとても好きだった。

佐古の見上げる高い上背も、やや低音の優しげな声も、銀ぶち眼鏡の奥で和む瞳も……そして何より、落ち込んで全てがどうでも良くなってしまった私の心を拾いあげてくれたことが。

その全てが私を捕えた。その全てが――『糸』だった。

初めて声を交したのは、雲ひとつない晴天の日。だが、私は空を見る余裕なんてなかった。足元もおぼつかない状態で、ゆっくりと時間だけを感じていた。

あの日は、やけに長く感じた。道端で話す高校生や、犬の散歩をするおばあさんが私の横を通り過ぎて行く、そんな中、私はことさらゆっくりと歩いた。歩いても歩いてもついてくる辛い現実に只々蓋をしようとしていた。

だけど蓋は不完全で、どこか歪で、完璧には閉じられない。隙間から溢れた想いは――こぼれるだけ。その溢れた想いを、拾ったのは、気付いたのは、佐古だけだった。

「何かあった？」

瞬間、とても好きだと思ってしまった。背の低い私に合わせて、少しだけかがんで。のぞきこむように……眼鏡の奥の瞳は細められて、その感情は読めなかったけれど。

「……別に」

顔を背けてぶっきらぼうに答えた私に、気分を害した様子もなく頓着せずに。その上背のせいで、降ってくるような優しい低音にか

らめとられていく。
「もしかして落ち込んでる？」
気付いたから……そんな私に気付いたから、私は佐古の『糸』にかかった。

彼女は、わかりやすい。
僕を見上げる熱に浮かされたような瞳も、流線を描くほんのり色付く桃色の頬も、やや震える高い声も……何より、一生懸命僕に気に入られようとする仕草が。
その全てが僕を好きだと語っていた。その全てが――僕を求めていた。

彼女は、僕のいる学部に毎日やってくる。以前の彼女の服はジーンズが多かったけれど、最近は風を受けてふわりと揺れるスカートだ。僕は彼女の反応をわかっていて、言う。
「スカート、似合うね」
彼女は、その柔らかそうな頬を染めてはにかむ。
僕は彼女に興味をもったように振る舞う。まるで彼女を一日中気にしているかのように。彼女がいれば声をかけ、彼女が言えば同意する。そして毎日の電話やメール、彼女の携帯電話は僕でいっぱいだ。彼女は『糸』に絡まる。
僕はほくそえむ。笑うしかない。確実に彼女は――堕ちる。

そして、一夜を迎えた。

『巣』にかかった『獲物』は『巣の主』に食べられる。けれど――残ったいらない部分は捨てられてしまうのだ。

彼の『巣』にかかった『獲物』――彼女は、『巣』から捨てられた。容赦もなく、まるで奈落へ突き落とすかのように。彼女の彼への恋心はいらない部分だったから。

佐古が私を見る瞳に優しさはもう見えない。その声は、拒絶を表す。私は気付いた。彼は――食べ終えた獲物に興味はないのだ。

だから私は今、佐古の『巣』の下に糸を張っている。完成したら、佐古の糸を一本一本切っていき、彼が落ちてくるのを待つのだ。

僕は今、『巣』を補強している。次にかかる獲物のために。

さあ、次に『くもの巣』にかかるのは――誰？

（後書き）

ありがとうございました。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n5998a/

くもの巣

2010年10月23日13時47分発行